

はじめに

近年、食生活を取り巻く社会環境の変化に伴い、栄養の偏りや朝食の欠食、食生活の乱れ等が指摘され、肥満や生活習慣病の増加等、健康への影響が問題となっています。

このような中、国民の食育の推進に関する取組を総合的かつ計画的に推進するため、平成17年に「食育基本法」が施行され、同法に基づき平成18年に「食育推進基本計画」が策定されました。「食育推進基本計画」では、子どもの健全な食生活の実現と豊かな人間形成を図るため、学校における食育が重要視されています。

また、新学習指導要領においても、食に関する知識や能力等を発達の段階に応じて総合的に身に付けることができるように学校教育全体で指導することが示されています。

食に関する問題は、本来は家庭が中心となって担うものですが、食生活の多様化が進む中で、家庭において指導を行うことが困難となりつつあります。そのため、子どもの食生活については、学校、家庭、地域が連携し、次代を担う子どもの望ましい食習慣の形成に努める必要があります。

学校においては、これまでも学級担任や教科担当者が中心となり、栄養教諭や学校栄養職員と連携を図りながら、食に関する指導を行っているところです。

呉市教育委員会では、発達の段階を踏まえつつ、小中一貫教育の中で食育が一層充実するよう「呉」の特色を生かした食育指導資料集を作成しました。この資料集は、食に関する指導の計画例や学習指導案、食育通信や簡単朝ごはんレシピ、呉の特産物や郷土料理、旬の食材やお話、保護者・地域への啓発のための料理教室、呉市内の学校における食に関する特色ある取組等をまとめたものです。呉の特産物であるレモンとトマトをキャラクター化した「くれモン」と「トマっぴー」が登場し、子ども達が楽しく学んだり、教職員が食に関する指導資料やイラスト・カット等をすぐに使ったりできるように、CD-ROMも添付しています。各学校において、食に関する指導や保護者・地域への啓発を行う際に役立てていただきますようお願いいたします。

終わりに、本食育指導資料集の作成に際して、御協力をいただきました委員の皆様及び貴重な資料を提供いただきました方々に、心より感謝申し上げます。

平成26年3月

呉市教育委員会教育長
長谷川 晃